管理ノード UI の操作

NetApp HCI

NetApp
June 25, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/hci18/docs/task_mnode_work_overview_UI.html on June 25, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

管理ノード UI の操作 . . . 1
管理ノード UI の概要 . . . 1
NetApp HCI でアラート監視を設定する . . . 1
アラート監視オプション . . . 1
管理ノードのネットワーク、クラスタ、およびシステムの設定を変更してテストする . . . 3
管理ノードのネットワーク設定を更新します . . . 3
管理ノードのクラスタ設定を更新します . . . 4
管理ノードの設定をテストします . . . 5
管理ノードからシステムユーティリティを実行します . . . 5

管理ノード UI の操作

管理ノード UI の概要

管理ノードUI(`https://<ManagementNodeIP>:442`を使用）では、ネットワークとクラスタの設定を変更したり、システムテストを実行したり、システムユーティリティを使用したりできます。

管理ノード UI で実行できるタスクは次のとおりです。

- "NetApp HCI でアラート監視を設定する"
- "管理ノードのネットワーク、クラスタ、およびシステムの設定を変更してテストする"
- "管理ノードからシステムユーティリティを実行します"

詳細情報

- "管理ノードにアクセスします"
- "vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"

NetApp HCI でアラート監視を設定する

NetApp HCI システムでアラートを監視するように設定を行うことができます。

NetApp HCI のアラート監視は、 NetApp HCI ストレージクラスタのシステムアラートを vCenter Server に転送して、 vSphere Web Client インターフェイスで NetApp HCI のすべてのアラートを表示できるようにします。

1. ノード管理ノードUIを開き(`https://[IP address]:442`ます）。
2. [Alert Monitor]タブを選択します。
3. アラート監視オプションを設定します。

アラート監視オプション

オプション	製品説明
Alert Monitor テストを実行します	モニタシステムテストを実行して次の項目を確認します。 • NetApp HCI と VMware vCenter の接続 • データストア情報を使用した NetApp HCI と VMware vCenter のペアリング QoSSIOC サービスによって提供されます • 現在の NetApp HCI アラームと vCenter アラームのリスト

オプション	製品説明
アラートを収集します	NetApp HCI ストレージアラームの vCenter への転送を有効または無効にします。ドロップダウンリストからターゲットのストレージクラスタを選択できます。このオプションのデフォルト設定はです `Enabled`。
ベストプラクティスアラートを収集	NetApp HCI ストレージのベストプラクティスアラートの vCenter への転送を有効または無効にします。ベストプラクティスアラートは、最適化されていないシステム構成によってトリガーされた障害です。このオプションのデフォルト設定はです `Disabled`。無効にすると、 NetApp HCI ストレージのベストプラクティスアラートは vCenter に表示されません。
サポートデータをAIQに送信	VMware vCenter から NetApp SolidFire Active IQ へのサポートデータと監視データのフローを制御します。 オプションは次のとおりです。 • Enabled ： vCenter アラーム、 NetApp HCI ストレージアラーム、およびサポートデータがすべて NetApp SolidFire Active IQ に送信されます。これにより、NetAppはNetApp HCIのインストールをプロアクティブにサポートおよび監視できるため、システムに影響を与える前に潜在的な問題を検出して解決できます。 • Disabled ： vCenter アラーム、 NetApp HCI ストレージアラーム、サポートデータはいずれも NetApp SolidFire Active IQ に送信されません。 NetApp Deployment Engineを使用して*[Send data to AIQ *]オプションをオフにした場合は、このページから管理ノードのREST APIを使用してサービスを設定する必要が"テレメータを有効にします"あります。

オプション	製品説明
コンピューティングノードのデータを AIQ に送信	コンピューティングノードから NetApp SolidFire Active IQ へのサポートデータと監視データのフローを制御します。 オプションは次のとおりです。 • Enabled ：コンピューティングノードに関するサポートデータと監視データが NetApp SolidFire Active IQ に転送されるため、コンピューティングノードのハードウェアをプロアクティブにサポートできます。 • Disabled ：コンピューティングノードに関するサポートデータと監視データは NetApp SolidFire Active IQ に転送されません。 NetApp Deployment Engineを使用して*[Send data to AIQ *]オプションをオフにした場合は、このページから管理ノードのREST APIを使用してサービスを設定する必要が"テレメータを有効にします"あります。

詳細はこちら

- "vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"

管理ノードのネットワーク、クラスタ、およびシステムの設定を変更してテストする

管理ノードのネットワーク、クラスタ、およびシステムの設定を変更してテストすることができます。

- [管理ノードのネットワーク設定を更新します]
- [管理ノードのクラスタ設定を更新します]
- [管理ノードの設定をテストします]

管理ノードのネットワーク設定を更新します

ノード管理ノード UI のネットワーク設定タブで、管理ノードのネットワークインターフェイスフィールドを変更できます。

1. ノード管理ノード UI を開きます。
2. [* ネットワーク設定 *] タブを選択します。
3. 次の情報を表示または入力します。

a. * method * ：インターフェイスを設定するには、次のいずれかの方法を選択します。
   - `loopback`：IPv4ループバックインターフェイスを定義するために使用します。
   - `manual`：デフォルトで設定されていないインターフェイスを定義する場合に使用します。
   - `dhop`：DHCP経由でIPアドレスを取得する場合に使用します。
   - `static`：IPv4アドレスが静的に割り当てられたイーサネットインターフェイスを定義する場合に使用します。
b. * リンク速度 * ：仮想 NIC によってネゴシエートされた速度。
c. **IPv4 Address**: eth0 ネットワークの IPv4 アドレス。
d. **IPv4 Subnet Mask**: IPv4 ネットワークのアドレス分割。
e. *IPv4 ゲートウェイアドレス *: ローカルネットワークからパケットを送信するためのルータネットワークアドレス。
f. **IPv6 Address**: eth0 ネットワークの IPv6 アドレス。
g. *IPv6 ゲートウェイアドレス *: ローカルネットワークからパケットを送信するためのルータネットワークアドレス。

   IPv6 オプションは、 11.3 以降のバージョンの管理ノードではサポートされていません。

h. **MTU** ：ネットワークプロトコルが伝送できる最大パケットサイズ。1500 以上にする必要があります。2 つ目のストレージ NIC を追加する場合は、値を 9000 にする必要があります。
i. **DNS Servers** ：クラスタ通信に使用するネットワーク・インターフェイス。
j. * 検索ドメイン *: システムで使用可能な追加の MAC アドレスを検索します。
k. * ステータス * ：有効な値は次のとおりです。
   - `UpAndRunning`
   - `Down`
   - `Up`
l. * Routes * ：ルートが使用するように設定されている、関連付けられたインターフェイスを介した特定のホストまたはネットワークへのスタティックルート。

管理ノードのクラスタ設定を更新します

管理ノードのノード UI のクラスタ設定タブで、ノードの状態が Available 、 Pending 、 PendingActive 、または Active であるときにクラスタインターフェイスのフィールドを変更できます。

1. ノード管理ノード UI を開きます。
2. [クラスタ設定 *] タブを選択します。
3. 次の情報を表示または入力します。
   - * ロール * ：管理ノードがクラスタ内に設定するロール。有効な値： `Management`
   - * バージョン * ：クラスタで実行されている Element ソフトウェアのバージョン。
   - * デフォルトインターフェイス * ： Element ソフトウェアを実行しているクラスタとの管理ノード通

信に使用されるデフォルトのネットワークインターフェイス。

管理ノードの設定をテストします

管理ノードの管理設定とネットワーク設定を変更して変更をコミットしたら、テストを実行して変更を検証できます。

1. ノード管理ノード UI を開きます。
2. 管理ノード UI で、 * システムテスト * を選択します。
3. 次のいずれかを実行します。
   a. 設定したネットワーク設定がシステムに対して有効であることを確認するには、 * ネットワーク設定のテスト * を選択します。
   b. 1G および 10G の両方のインターフェイスで、 ICMP パケットを使用してクラスタ内のすべてのノードへのネットワーク接続をテストするには、「 * ping のテスト」を選択します。
4. 次の情報を表示または入力します。
   - * Hosts * ： ping を実行するデバイスのアドレスまたはホスト名をカンマで区切って指定します。
   - * attempts * ： ping テストを繰り返す回数を指定します。デフォルト値は 5 です。
   - * Packet Size * ：各 IP に送信される ICMP パケットで送信するバイト数を指定します。ネットワーク設定で指定されている最大 MTU より小さい値を指定する必要があります。
   - * Timeout msec * ： ping 応答ごとに待機するミリ秒数を指定します。デフォルト値は 500 ミリ秒です。
   - * Total Timeout Sec* ： ping 試行の実行前またはプロセスの終了前に、 ping がシステム応答を待機する時間を秒単位で指定します。デフォルト値は 5 です。
   - * フラグメンテーションの禁止 *: ICMP パケットの DF （ Do not fragment ）フラグを有効にします。

詳細はこちら

- "vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"

管理ノードからシステムユーティリティを実行します

管理ノードのノード UI を使用して、クラスタサポートバンドルの作成または削除、ノード設定のリセット、ネットワークの再起動を実行できます。

手順

1. 管理ノードの管理クレデンシャルを使用して、ノード管理ノード UI を開きます。
2. システムユーティリティ * を選択します。
3. 実行するユーティリティのボタンを選択します。
   a. * Control Power * ：ノードをリブート、電源再投入、またはシャットダウンします。次のいずれかのオプションを指定します。

      この処理を実行すると、ネットワーク接続が一時的に失われます。

- アクション：オプションにはAND `Halt`（電源オフ）が含まれます `Restart`。
- * Wakeup Delay * ：ノードがオンラインに戻るまでの時間。

b. * クラスタサポートバンドルの作成 * ：クラスタ内のノードについてネットアップサポートの診断を受けるためのクラスタサポートバンドルを作成します。次のオプションを指定します。

- * Bundle Name * ：作成された各サポートバンドルの一意の名前。名前を指定しない場合、「 supportbundle 」とノード名がファイル名として使用されます。
- * Mvip * ：クラスタの MVIP 。バンドルは、クラスタ内のすべてのノードから収集されます。このパラメータは、 Nodes パラメータを指定しない場合のみ必要です。
- * Nodes * ：バンドルを収集するノードの IP アドレス。バンドルの収集元のノードを指定するには、 Nodes または Mvip のいずれかを使用します。両方を使用することはできません。このパラメータは、 Mvip を指定しない場合は必須です。
- * Username * ：クラスタ管理者ユーザ名。
- * Password * ：クラスタ管理者のパスワード。
- * Allow Incomplete * ： 1 つ以上のノードからバンドルを収集できない場合でもスクリプトが引き続き実行されます。
- * Extra Args *：このパラメータはスクリプトに渡されます `sf_make_support_bundle`。このパラメータは、NetAppサポートから指示があった場合にのみ使用します。

c. * Delete All Support Bundles * ：管理ノードに保存されているすべてのサポートバンドルを削除します。

d. * ノードのリセット * ：管理ノードを新しいインストールイメージにリセットします。これにより、ネットワーク設定を除くすべての設定がデフォルトの状態に変更されます。次のオプションを指定します。

- * Build * ：ノードをリセットするリモート Element ソフトウェアイメージの URL 。
- * オプション * ：リセット操作を実行するための仕様。詳細は、必要に応じてNetAppサポートから提供されます。

> この処理を実行すると、ネットワーク接続が一時的に失われます。

e. * ネットワークの再起動 * ：管理ノード上のすべてのネットワークサービスを再起動します。

> この処理を実行すると、ネットワーク接続が一時的に失われます。

詳細はこちら

- "vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。